

## <名大キャンパス・ツアー（6月13日）>

「名大祭」中のキャンパスを歩いて肌で感じ、

名大への想いを更に強くした一日

～ 本校卒業の大学生・大学院生と「クロス・トーク」！ ～

参加希望者が非常に多い中、先着順で決めさせていただいた70名を越える四南生（1、2年生）が、名古屋大学・東山キャンパスを訪問しました。今年度は昨年より10月開催から「1学期の6月」へと大幅に前倒し。先週開催された、名大情報学部・谷村教授を南高へお招きしての『第1回 名大Live Showcase』で高まった知的好奇心とエネルギーをそのままに、本物のキャンパスへと乗り込みました。

当日の東山キャンパスは、年に一度の熱狂に包まれる「名大祭」の真っ最中！これ以上ない最高のライブ空間が、四南生たちを迎えました。

### ■ 憧れの豊田講堂を眺めながら、「合格への旅」がスタート

ツアーの始まりは、名大の象徴である豊田講堂を前にある「コモネ」。

南高生たちの瞳に、いっそう熱い炎が灯りました。

### ■ 大学生・大学院生の先輩たちと濃密な「クロス・トーク」！

今回のツアーの最大の特徴は、名大に通う本校卒業生の皆さん（大学生・大学院生）との圧倒的な距離の近さです。今春、過去10年で最多となる「13名」の合格者を輩出した四南だからこそ、キャンパスには驚くほどたくさん頼もしい先輩たちが集まってくれました。

グループワークでは、キャンパスの案内はもちろん、ガイドブックには載っていない「リアルな大学生活の魅力」、大学（大学院）での学びの内容、そして先輩たちが四南時代に実践していた「受験勉強を乗り切るための独自術やディテール」について、予定時間をオーバーするほど激しい「クロス・トーク」が繰り広げられました。年齢の近い先輩たちが、自らの言葉で語っていただく、輝かしい「プロセス」を五感で吸収し、生徒たちは「なんとなく名大に行きたい」から「絶対にここで研究がしたい！」という確信へと変わっていく様子を見せてくれました。

### ■ キャンパスの空気を肌で感じ、次なるステップへ

名大祭の圧倒的な活気と、自由な学風、そして最先端の研究が日常にあるキャンパスの雰囲気を肌で感じた生徒たち。

今回のツアーは、単なる見学ではなく、自らの手で未来の選択肢を掴み取るための大きな「パラダイムシフト」の機会となりました。

このツアーで得た最高のモチベーションと、先輩からのバトンエネルギーに変え、四南生たちは、これからの日々の学習や探究活動へと進んでいきます！

大変貴重な機会をくださった名古屋大学の皆様、そして名大祭の最中にもかかわらず後輩たちのために熱く伴走してくださった卒業生の皆さん、ありがとうございました！

